

# 中間報告書

令和6年9月20日現在

- 1 事業名 笠岡諸島ビジネスプラン共創プログラム
- 2 実施期間 令和6年4月15日～令和7年2月28日
- 3 事業内容

## ① 事業の目的・概要

島の資源活用を通じて、新しい価値を生み出す仕組みづくりを行う必要があり、そのためには島の強みを十分に感じてもらえながら、島の方々との交流により島を好きになっていただくことが一番の近道と考え、島を舞台とした塾形式の学びの場、島の生活自体を体験できるメニュー作り、そして、ビジネスプランを構築して、島民と共に活動を行う場。仕組みの構築を行うのが目的。

### 【事業内容】

- 島民対象の地域資源活用の研修会  
北木島（講師：赤澤雅弘氏） 2回  
瀬戸内海の島視察 1回
- 塾生が同じミッションに向かってプラン醸成を行うビジコン・報告会  
・テーマ  
空き家の活用について（北木島）  
情報発信について  
担い手の確保（環境整備・文化継承）
- 島民を講師に島の現状把握・島体験を行う「島ラボ」  
北木島（豊浦）で 3回講座（10月・11月・12月）
- 最終報告会・プラン提案（1月）

## ② 事業の流れ・進捗状況

〈実施したこと〉

### ア 事業の見直し

島民が講師なるのではなく、島民と島外の人が共に考える場を増やした方がよいと地域住民からの要望があったため、島塾とした形式を「島ラボ（研究室）」に変更した。

### イ 瀬戸内海の島視察

7月7日（日）に香川県男木島の視察を行い、離島の活性化の取組事例を学んだ。

### イ 地域資源活用研修

9月8日（日）に赤堀氏を講師として、笠岡諸島の持つ地域資源を発見した。また、移住して島の生業を作るのではなく、島でも出来る生業がある人、または島でしかできない事を生業としている人を関係人口創出のターゲットにする仕組みを研究した。

#### ウ 六島塾の研究

笠岡市六島で実施している「六島塾」について研究した。

#### エ 島ラボの開催に向けて調整

これまで島に関わって来られた講師陣の人選を行い「島ラボ」の日程等を協議した。

#### 〈今後、実施すること〉

##### ア 島ラボの参加者募集

現在チラシを作って広報活動を進めるとともに、SNSを活用し具体的な内容を提供する。

募集締め切りは10月15日を想定しており、オンライン説明会を週2（水・日）個別にZOOMで実施する。

SNSから入り、実際に主催者の想いを聞いてから応募する方式を取ることで、プログラムへの期待度と現実とのギャップを埋める。参加者募集の段階が一番肝となるので慎重に行う。

また、島ラボでは、外部講師を招聘し、地域住民には分かりにくい地域の魅力をより深堀する取り組みを通じ、参加者の学びとし、新たな発想に繋げるようにする。なるべくそれぞれの活動を多くの地域の方々を巻き込みながら実施することに注力する。

##### イ 島ラボの実施

10月から12月（全4回）島ラボを実施し、1月に実施するビジネスプランの最終報告会に向け、島民及び島外の者が共同して島の振興策等を研究する。

※講師及び日程は別紙資料のとおり

##### ウ 報告会の開催

ビジネスプランと地域の意識が乖離しないよう、コーディネートしていく。

#### ③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

昨年笠岡諸島「六島」で実施している「六島塾」は7月から8月の募集期間で9月から塾を開催しており、その募集の事前説明会 ZOOM 等に参加させていただきながら募集の方法を学んだ。地域に新しい仕事を作ることへのハードルは高く、まずは地域に関心を持ってもらうことから始める事が重要だと感じ、北木島でのやり方を考える中で、石の聖と呼ばれ、北木石を世に知らしめた存在とその先人を産んだ地域の遺産、気質に思い及んだ。

今後は、その地域の潜在能力を探りつつ、この地でなければ出来ないプログラム作りにより、外からの参加者と地元住民との化学反応を期待する。

#### ④ 課題等

事業展開する中で、外からの参加者が勝手に地域の現状も知らずにビジネスプランだけが独り歩きすることの危険性を感じる。あくまでも地域で継続するビジネスは地域の理解と応援が無ければ成立しにくい。

ハードルを低くし、地域の人何かやりたいと思っていることを代弁し後押



カリスマはいないけど。一緒に愉しみ、一緒に語り合う場とチャレンジできるフィールドを提供します。・・・笠岡諸島北木島「豊浦」

なりたい自分を探す

石の聖と呼ばれた男

男により「北木御影」はこの世にこの名を轟かせた

今学ぶべきことは先人のチャレンジスピリット！

育んだ「地域」から紐解く新しい可能性

島ラボ日程



- ① 産業観光の達人「赤澤雅弘」  
産業観光の赤澤ツアー形式で地域を回り、地域のキーマンとの触れ合いの中で先人のチャレンジスピリットに迫る！  
**10月26日(土)・27日(日) 北木島(豊浦・金風呂)**
- ② 映像作家「吉川寿人」  
2014年に北木島で実施された「ノースデザインプロジェクト」参加作家。2か月のアートインレジデンスで映像作品「北木の石物語」を発表。その翌年北木島移住、島で7年間活動を行う。今は故郷のたつの市在住。  
**11月9日(土) 北木島(豊浦ふれあい会館)**
- ③ スタジオLチーフ「西上ありさ」  
大学時代に家島の活性化に関わり、コミュニティデザインの山崎亮氏と共にスタジオL設立。笠岡諸島の子ども振興計画、海士町の離島振興計画づくりにも参加している。新しい仕組みづくりの地域づくりカリスマ。  
**12月7日(土) 北木島(豊浦ふれあい会館)**
- ④ NPO 法人男木島生活研究所代表「福井大和」  
2013年瀬戸内芸術祭の際に故郷男木島へ滞在、その後家族でUターン。2014年男木島小中学校再開から始まり、島の活性化の取り組みを資力的に展開。移住者を積極的に受け入れながら地域の再編を手掛ける。  
**1月18日(土) 19日(日) (豊浦ふれあい会館)**

取り組みの背景

2014年・2015年に2回開催した「北木ノースデザインプロジェクト」参加作家と島民との交流で地域の魅力を再発見し、石の島としての情報発信がされました。

そして、それを支えてくれたのが地域の絆でした。

街づくりは「地域経営」とも言われます。舞台となるのは、あの石の聖と呼ばれた畑中平之蒸を育んだ「豊浦」。

日本一と言っても過言でない、北木島の石材産業を生み育てた地域。

地域で醸成された気質。地域に住み一人ひとりの個性を活かす風土。

その日常の豊浦町内会の活動こそが、今希薄になりつつある地域の絆。

地域で考え前向きに実行していく取り組み「住民自治」が展開されています。

豊浦の生活文化に触れることで「地域愛」を考え、地域と共にチャレンジする人づ

くりを進めます。

(仮称) 北木島生活文化研究所 (島ラボ) であなたも自分探しの旅に出ませんか？

- ① 地域に関わりたいと思っているが、その関わり方が分からない。
- ② 定年退職を迎え、企業社会から地域社会へ入り、地域に貢献したい。
- ③ 子育ても少し余裕が出来て、何か新しいことに挑戦したい。
- ④ 何がやりたいか自分ではわからない。とにかく経験を積んで何か見つけたい。

この事業は、4回の開催カリキュラム中で、塾形式で各回で講師の実践活動のレクチャーを受ける中で地域の問題把握や新しいチャレンジを産む活動実践を行います。そして、塾を通じて感じ取った気づきをマイプランとして提案していただくものです。テーマとしては、「空き家の活用」「担い手づくり」「情報発信」「地域資源活用」や「自由」テーマも可。グループ参加も可とします。

塾長：赤澤雅弘 (倉敷産業観光コーディネーター)



1957年生まれ。1980年岡山大学卒業後児島のジーンズメーカーの広報として活躍。その間コピーライターに憧れ、3年で退社し、独立してコピーライターを始める。仕事の傍ら、玉島のまちなみやまちづくりに興味を持ち、独自に町並みとそこに宿る人の暮らし特に「産業」に注目し、玉島のものづくりを生かした「産業観光」の基礎をつくり、玉島商工会議所と共に「玉島産業観光ツアー」を行う。かたくなに本物を求めるその手法は妥協をゆるさず、職人技といっても過言ではない。近年倉敷の美観地区を中心とする観光事業と肩をならべる「玉島・水島・児島」を舞台とした「赤澤プロデュースの産業観光ツアー」が脚光を浴びている。

プロデューサー：藤井智晴 (NPO エリアイノベーション代表)



岡山県総社市出身。1981年生まれ。大学在学中は、議員インターンシップ事業の立ち上げや地域づくりのゼミ活動に取り組む。卒業後は、大学法人職員、株式会社リクルートを経て、NPO エリア・イノベーションを創業。地域の挑戦の生態系づくりに取り組む。



講師：吉川寿人（映像作家・たつの市在住）

1982年生まれ。北木島で開催された「ノースデザインプロジェクト」の第1回の招聘アーティスト。滞在制作を機に東京から移住。島に残るかつての映画館を「ひかり劇場」として開いたり、古民家を映像の家として活用したりするなど、島文化や暮らしを島外に発信し島を元気にすべく、定期的に島の歴史や新たなドキュメンタリー映像作品を手掛ける。現在はたつの市に帰郷し、島外から島と関わる。



講師：西上ありさ

1979年北海道生まれ。早稲田大学大学院（政治経済学部）修了。公共経営修士（専門職）。早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員。2007年から2012年にかけて海士町のまちづくりに携わる。住民参加による総合計画の策定、集落診断・集落支援、病院づくり、美術館づくり、子育て支援、地域包括、生涯活躍のまち、総合戦略の策定、介護、フレイル予防、学校教育、社会教育などの公共事業に取り組む。



**講師：福井大和**

香川県高松市男木島生まれ。中学卒業後、島を離れていたが、「瀬戸内国際芸術祭2013」をきっかけに、18年ぶりに家族で男木島へUターンを決意。休校していた男木小中学校の再開活動に取り組み、Uターン後は保育園の再開など島で子育て出来る環境を整え移住・定住を支援。コワーキングスペースの整備や「ICTを活用した高齢者の見守り・教育」の実証事業など男木島での暮らしのアップデートをしながら地域のボランティア活動も積極的に行い、地域住民と接しながら様々な取り組みを行なっている。

# 島ラボ in 北木島

# 始動!!

グループ参加OK

受講者  
募集

せとうちに浮かぶ北木島に根付く

## チャレンジスピリット

## 地域愛 を学ぶ



(仮称)北木島生活文化研究所

### 島ラボ 2024 プログラム

各講師の活動紹介やレクチャーを受けながら、豊浦地域における諸問題を紐解くとともに新しいチャレンジに向けた調査・活動を行います。そして、受講者の気づきを今後のアクションをマイプランとして取りまとめ、発表していただきます。

マイプランのテーマは、「空き家の活用」「担い手づくり」「地域資源の活用」「情報発信」。オリジナルのテーマもOK。

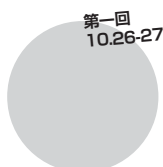
#### あなたも自分探しの旅に出ませんか？

地域に関わりたいと思っているが、その関わり方が分からない。

定年退職を迎え、企業社会から地域社会へ入り、地域に貢献したい。

子育ても少し余裕が出来て、何か新しいことに挑戦したい

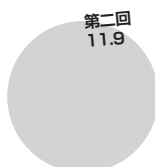
何がやりたいか自分ではわからない。とにかく経験を積んで何か見つけたい。



第一回  
10.26-27

赤澤雅弘

産業観光の達人



第二回  
11.9

吉川寿人

映像作家



第三回  
12.7

西上ありさ

スタジオ L



第四回  
1.18-19

福井大和

NPO北木島生活研究所

日程

2024年10月 ▶ 2025年1月

(セッション計4回を予定)

活動  
場所

岡山県笠岡市 北木島 豊浦 地区

(笠岡・伏越港からフェリーで約1時間)

参加  
費用

5,000 円/人

(島への往来・食事・宿泊に要する費用は別途ご負担ください)

#### お申し込み

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込んで申し込みフォームにアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください

QRコード

主催 | NPO 法人 **かさおか島づくり海社**

<https://www.shimazukuri.org>